

令和7年度 宇都宮都市交通戦略推進懇談会 結果概要

日 時：令和7年6月27日（金）午前10時00分から午前10時45分まで

場 所：宇都宮市役所 14階大会議室

出席者：別添資料のとおり

内 容：1 開会

2 議題

(1) 会長の選出について

(2) 第2次宇都宮都市交通戦略（後期計画）の進行管理について

・ 令和6年度の取組状況等について

3 閉会

～開会～

議題(1)会長の選出について

事務局

- ・ 会長の選出については、要綱第5条第1項により、委員の互選により定めることとしている。

委員

- ・ 宇都宮地域の交通状況を熟知しており、LRTをはじめとした公共交通やまちづくりに関して深い知見のある早稲田大学の森本教授に、引き続き、会長をお願いしてはいかがか。

委員一同

- ・ 異議なし。

会長選出

- ・ 森本委員を会長に選出

会長挨拶

- ・ 当懇談会は、平成22（2010）年に設置され、以後定期的に開催をしている。このように長い期間、交通政策に関する議論を重ねてきたことについて、敬意を表したい。こうして続けることができているのは、PDCAのサイクルを上手く回せるように市が主体的に行ってきた賜物であり、また、委員の皆さんの協力のおかげでもある。今後も、宇都宮市の発展のため、皆さんのご協力をいただきながら、会長を務めていきたい。

議題(2)第2次宇都宮都市交通戦略（後期計画）の進行管理について

事務局

- ・ **資料1**事務局より説明

委員

- ・ 今年度中に導入予定の「市内のどこから乗ってもどこまで行っても片道500円以内」の取組については是非進めていただきたい。一方で、「一日乗車券」という名称については、当社においても、「ライトライン一日乗車券」を販売しているので、利用者にとって紛らわしくない名称を検討いただきたい。

事務局

- ・ ご提案のとおり、利用者が混乱しないような名称を検討していく。

委員

- ・ 指標のICカードの利用割合の結果を見ると、公共交通のキャッシュレス化は順調に進んできている。運転手の負担軽減や料金箱の新紙幣対応が不要になるなどコスト削減にも繋がるので、将来的に完全キャッシュレスを目指していければと思う。昨年度は関東自動車(株)において、完全キャッシュレスバスの実証運行を実施した。今後、計画の見直しや次期計画策定のタイミングにおいては、完全キャッシュレス化を目標とした内容も検討していただきたい。

事務局

- ・ バスやライトラインのICカード利用率は現在9割近くまで伸びてきている。一方で、地域内交通については、高齢者の利用割合が高いことなどから、伸びていない状況である。今後についても、ICカード利用率の向上に向けた取組を行いつつ、計画の見直しや次期計画策定の際には、完全キャッシュレス化の内容についての記載を検討していく。

委員

- ・ 評価指標のうち、「都心部と各拠点間の公共交通による移動時間」については、今後どのように取り組んでいくのか。

事務局

- ・ これについてはバスの運転手不足等による影響から減便せざるを得ない状況であり、結果として移動時間が増加した状況である。バス事業者においては、運転手の確保に向けて様々な取組をしていることから、今後も引き続きバス事業者と連携しながら、バスの維持・充実に努めていく。

会長

- ・ 芳賀町と宇都宮市において、ライトラインの黄色・黒というトータルデザインが定着してきていると感じている。送迎保育ステーションの送迎バスや大谷のグリーンスローモビリティの車両も黄色・黒を利用している。今後もモビリティハブや端末交通などについて、トータルデザインで考えていただきたい。

事務局

- ・ ご意見のとおり、トータルデザインで考えていくことは重要であると考えている。今後についてもトータルデザインを考慮しながら、各施策事業の取組を進めていく。

会長

- ・ ほかに質問等が無ければ、進行を事務局にお返りする。

事務局

- ・ 今後は、本日いただいた意見を参考にしながら、各施策事業に取り組んでいく。以上をもって、令和7年度宇都宮都市交通戦略推進懇談会を終了する。

～閉会～

以上